

17番 米永 あつ子 議員

1 市政運営について

- (1) 鹿屋運動公園野球場の整備について、内野バックネットの全面張り替えや、球場内壁のラバー全面設置など、6点の早期修繕を求める陳情等も過去に提出されている。早期改修を求める声に対して本市におけるこれまでの協議・検討、更に今後の計画について示されたい。
- (2) 平成13年4月から民間委託となったごみ収集業務は業務が大変との声を聞くが委託契約内容についてはどのようなか。
また、新人研修先に市民生活の実態と市民意識の現状を肌で感じられる清掃労働体験を取り入れてはどうか。

2 消防行政について

- (1) 高齢化の進行や気象環境の激変による救急活動や防災対策は、今後ますます重要性を増すと考える。広範に及ぶ消防体制の構築と社会環境や就業形態の変化により、消防団活動も変わってきているのではないか。消防団員は昼間市外に働きに出ている人も多く、火事発生時にいざ出動となっても、消防分団の中には人数が集まらなくて消防活動ができない消防分団や、また新入団員の確保や団員年齢の高齢化など消防団運営は、なかなか厳しい状況下である。社会環境が変化する中で消防署の役割、消防団の役割など消防行政も変革を求められていると思われる。
 - ① 大規模災害団員制度導入についての見解を示されたい。
 - ② 凍てつく時期に開催される消防出初式や市長巡視時における団員の寒さ対策(防寒着貸与)についての考えを示されたい。
 - ③ 救急車出動が増加している一方で、入院施設が減少していく鹿屋市内の救急医療体制の現状と今後についての考えを示されたい。

17番 米永 あつ子 議員

3 基地問題について

- (1) 重要土地等調査法に関する国からの通知等の有無、また他基地へ国からの通知について示されたい。
- (2) リバティ制度の緩和について市長の考えを述べられたい。
- (3) 抑止力としての反撃能力(敵基地攻撃能力)保有が文書に明記されるなどこれまで、戦後日本が堅持してきた「専守防衛」が揺らぎかねない歴史的な転換が国民的な議論を抜きに決定されてしまったことは看過できない。安保関連3文書と鹿屋基地との関係において、市民の暮らしへの影響についてどのようなことが考えられるか示されたい。